



ちがっ だより 第8号

桶川市地域福祉活動センターだより

桶川市末広2-8-8
(総合福祉センターとなり)
開館時間: 8時半~21時
休館日: 年末年始 (12/29~翌年1/3)

発行日: 令和6年2月15日

センターのご案内
当センターは、桶川市の公共施設です。住み良い地域社会の形成と地域福祉の推進、地域福祉活動の拠点となる場を提供するため、設置されています。

【貸室】 (要予約)
自主的かつ非営利に行っている団体が優先してご利用いただける貸室です。非営利であれば個人でも利用可能です。

【世代間交流スペース】
市民の皆様にご利用いただける、フリースペースです。打合せ、友達とのおしゃべりや勉強、散歩中のひと休み等、自由にご利用いただけます。20席、小上がり畳スペース、キッズスペースがあります。

【個人学習ルーム】
開室時間: 9:00~21:00
受験勉強、市民活動の個人作業など、ご利用いただけるスペースです。ご利用の流れは以下のようになります。

- 利用開始
 - ▶総合案内で利用希望を伝える
 - ▶利用受付票の記入または登録カードの提示(※1)
 - ▶座席表から利用したい座席を選ぶ
→席番号札をお渡し
 - ▶学習ルームの利用
 - 利用終了
 - ▶総合案内へ席番号札を返却
→登録カードを返却(※1)
- ※1 登録カード申請書をご記入いただきカードが発行されれば、次回のご利用からカードの提示だけでご利用が可能です。

- ☑利用料無料
- ☑時間制限なし
- ☑電源設備あり
- ☑フリーWi-Fi完備



詳しくは、総合案内(729-8378)までお気軽にお問い合わせください。

このたびの能登半島地震により、犠牲になられた方々のご遺族の皆様にご挨拶とお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にご挨拶申し上げます。そして、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

特集・災害と向き合う ~私たちができること~

令和6年は年明けから大きな災害に見舞われ、ニュースでは連日にわたり、避難生活の様子や生活再建の課題など、被災地の状況が伝えられています。「被災者のためにできることは?」、「自分が災害に遭ったらどうすればいいか?」、様々な気持ちで日々を過ごしている方も多いのではないかと思います。今、私たちにできることはどんなことでしょうか。

—被災地のために できること—
被害に遭われた方に想いを寄せつつも、災害ボランティアにも行くこともできず、何かできることはないかと考えている方も多いと思います。そのような中ですぐに行動できることとして援護募金があります。

よく目にする、慈善団体、日本赤十字社への援護募金だけでなく、被災地へのふるさと納税や各自治体など、様々な受付先があります。桶川市内でも、市役所をはじめ市内各公共施設に募金箱を設置しています。協力しやすい方法、その時に協力できる金額で援護を行うことができます。被災地に届くよう、信用できる受付先を選ぶことが大切です。(当センターでは、社会福祉協議会が月~土曜日に募金箱を設置しています。)

—災害に備えて できること—
水、電気、ガスといったライフラインがない生活は、不便というだけでなく身体にも影響を及ぼします。特に、「飲み水」は一人あたり1日3リットル、最低3日分として9リットルの備蓄が必要と言われ、水分が不足することで災害関連死を招くこともあります。

どのようなことに備えたら良いか、桶川市のホームページでは、「大地震に対する備え」として、備えや心構えを次のように挙げています。

- ①一人ひとりがどのような行動をしたら良いかを家族で話しておくこと
- ②火の始末、初期消火の方法
- ③飲料水、非常食、非常時の持ち出すものの点検
- ④役割を具体的に決めておくこと
- ⑤火を使う器具の定期点検
- ⑥倒れやすい家具の転倒防止器具の取り付け
- ⑦ブロック塀や門柱の修理や補修



出典: 埼玉県ホームページ 減災グッズチェックリスト

また、埼玉県ホームページでは、減災グッズチェックリストを発信しています。情報を集めて、自分にあった備えをすることが大切です。

災害に備えることは、自分、家族、近い人の支えとなります。今回の災害に自分事として向き合い、今できることをしてみませんか。

館内行事・報告

親子わくわく料理教室
みんなの調理室を活用し、子ども向けの料理教室として、親子4組が参加し、食品ロスの問題を学びながら恵方巻づくりを行いました。講師の桶川市食生活改善推進委員の皆様3名と、世代間交流をしながら、楽しく笑顔あふれる体験ができました。

市民活動のご紹介



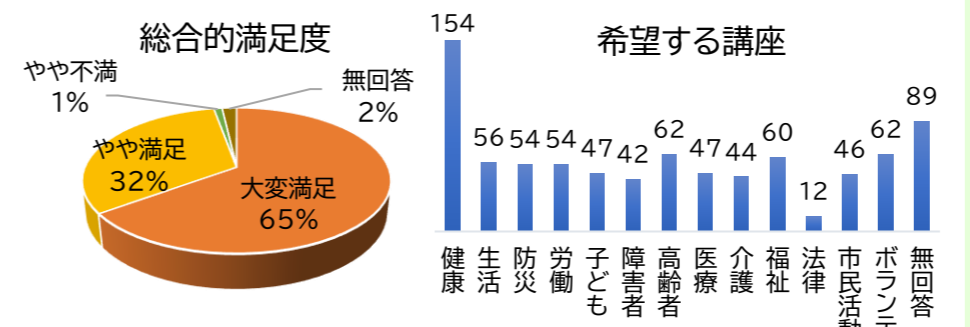
桶川 2024年新年会

桶川市内居住の聴覚障害のある方と、会の趣旨に賛同する方により構成され、友愛と協力により、社会福祉の充実と発展に寄与することを目的としている団体です。

平成2年に設立され、途中休会期間を経た後、平成28年に埼玉県聴覚障害者協会の力添えで再結成となりました。設立時、会員数3名からのスタートでしたが、徐々に会員も増え、桶川手話サークルチャイムと協力し合いながら和気あいあいと活動されています。聴覚障害の方のコミュニケーション支援を充実させるため、手話通訳者の育成と手話の普及に力を注ぎ、手話サークルと連携して手話の読み取りや表現等を指導されています。また、市民まつりやふれあいフェスタ、ボランティア見本市への参加や、クリスマス会、新年会などのイベントを通して会員相互の交流を深められています。活動の見学、会員募集については、社会福祉協議会地域支えあい課(☎728-2221)でご案内が可能です。

館内行事・報告

ご利用者様アンケート
地域福祉活動センターでは、ご利用者様からの声をうかがいサービス向上に務めるため、令和5年9月~11月にアンケート調査を行いました。結果の一部をご報告させていただきます。(回答者数: 388人)



総合的満足度では、97%の利用者より満足という、結果になっておりますが、さらにご満足いただけるよう課題解決に努めていきたいと思っております。また、希望する講座については、「健康」への関心が極めて高いことがわかりました。今後の事業企画の参考にさせていただきます。ご協力いただきました皆様には御礼申し上げます。

アンケート結果につきましては、令和6年3月末まで館内掲示板にて掲示をします。また、詳しい集計結果につきましては、総合窓口で閲覧することができます。

発行: 桶川市社会福祉協議会 (桶川市地域福祉活動センター)
桶川市末広2-8-8 TEL048-729-8378 FAX048-729-8379



館内実施のご案内

☺ 歯とお口の健康相談 ☺

日時: 4月22日(月)13:00~14:30
内容: 北足立歯科医師会の歯科医師による無料相談会。しばらくの間歯医者さんに行っていない方。センター総合案内まで要予約。(予約・問合せ: センター ☎729-8378)

🏠 桶川市人権相談 🗣️

日時: 3月12日(火)9:00~12:00
4月9日(火)9:00~12:00
内容: 悩みごと・離婚問題・子どものいじめなどの日常生活でお困りのことに、人権擁護委員が対応します。

🍃 ゆずり葉 おもちゃの病院 🏥

日時: 2月22日(木)10:00~12:00
3月28日(木)10:00~12:00
場所: 2階 団体交流室
内容: おもちゃの修理。予約不要。修理は無料。電池、部品代は実費が必要です。

🍴 しゃきょう食堂 🍴 ※第1・3金曜日

日時: 2月16日、3月1日、3月15日、4月5日
いずれも17:30~19:00
場所: 1階 世代間交流スペース
内容: 高校生までは無料、大人は300円。要申込。(申し込み: 社会福祉協議会地域支えあい課 ☎728-2221)

🍽️ 食事サービス 🍽️ ※第1・3火曜日

日時: 2月20日、3月5日、3月19日、4月2日
いずれも12:00~13:00
場所: 1階 世代間交流スペース
内容: 桶川市在住の一人暮らしの高齢者が対象。一食600円で会食。要申込。(申し込み: 同上)

📱 スマホっとサロン 📱 ※第4土曜日

日時: 2月24日(土)13:30~15:00
3月23日(土)13:30~15:00
場所: 1階 世代間交流スペース
内容: シニア同士でスマホの悩みを共有できるサロンです。ボランティアがスマホ操作のサポートをします。予約不要。

●次回は、4月15日頃に発行予定です●